

主の道にかないて助けをなす





福 社計画の真の長期目標は、

与える側と受ける側双方の教会員の人格を築き、

人の心の奥深くに眠っている最も優れたものをすべて解き放ち、

内に秘められた豊かな精神を開花結実させることである。

これは結局、

この教会の使命と目的であり、また存在理由でもある。

J・ルーベン・クラーク・ジュニア管長、ステーク会長のための特別集会、1936年10月2日

主の道にかないて助けをなす

教会の福祉の目的は、教会員が自立し、
貧しい人や助けを必要とする人を支援し、人々に奉仕できるように助けることです。

目次

会員の責任	1
ステーク会長の責任	4
ビショップの責任	4
支援するうえでの基本的な福祉の原則	5
貧しい人を助けるうえで、教会内で得られる援助手段	5
貧しい人を助けるうえで、教会外で得られる援助手段	8



マルコ12:41-44

会員の責任

神権指導者と扶助協会指導者は、会員が自分自身と家族、そしてほかの人々に対して負っている責任を理解できるように助けるべきです。

自分と家族の必要を満たす

教会員は、自分自身の霊的・物質的な福利に関して責任があります。それぞれに選択の自由という賜物たまものが与えられているので、自分の進むべき道を決め、自分自身の問題を解決し、自立できるように努力する特権が与えられています。主の導きを受け、自ら働きながら、それらを行っていくのです。

自立の要素

自立とは、自分自身と家族の生活の必

要を満たす能力であり、決意であり、努力です。会員が自立するとき、さらによく人々に奉仕し、助けを与えることができます。

教会員があらゆる手を尽くしても、基本的な必要を満たすことができないときには、まず家族に助けを求めるべきです。それでも十分でない場合、教会は支援することができます。

会員が自立すべき幾つかの要素が、以下の段落と2ページにまとめられています。

教育。教育は人を豊かにし、高め、さらに幸福な生活へと導いてくれる理解を与えます。会員は聖文をはじめ良書を研究し、読み書きや基本的な計算の能力を向上させ、自分に適した仕事に必要な技術を習得すべきです。



健康。主は会員に対して、心身の健康を保つように命じられました。知恵の言葉を守り、栄養のある食物を取り、定期的に運動し、十分な睡眠を取るべきです。心身に有害な、依存性のある薬物や習慣を避けるべきです。衛生管理をし、体や歯の適切な手入れや治療をすべきです。また、家族やほかの人々と良い関係をはぐくめるように努力すべきです。

職業。働くことは、自立と物質的に安定した生活の基盤となります。会員は、自分や家族の必要を満たすために、自分に適した職種や自営業種に就くための備えをし、それらを注意深く選ぶべきです。仕事の技術を磨き、勤勉で信頼に足る働きをなし、受けている給料や報酬にふさわしく正直に働くべきです。

家庭貯蔵。自分自身と家族の必要を満たすために、会員は以下のことを行うべきです。

— 日常の食事に含まれているような食物を、3か月分貯蔵する。

— 水道の水が汚染されたり、断水したりした場合に備えて、飲料水を貯蔵する。

— より長期にわたって生活を支えるための食料を、少しずつ貯蔵していく。

『すべての必要なものを用意なさい——家庭貯蔵』3 (アイテム番号04008300) 参照

財政管理。経済的に自立するために、会員は以下のことを行うべきです。

— じゅうぶん 十分の一と断食献金を納める。

— 不必要な負債を避ける。

— 予算を立て、その範囲内で生活する。

— 定期的に少しずつ貯金をすることで、着実に経済的な蓄えを築く。

— 家族に財政管理の原則を教える。

『すべての必要なものを用意なさい——財政管理』3 (アイテム番号04007300) を参照。

霊的な力。霊性はこの世と永遠における個人の幸福に欠かせません。教会員は天の御父とイエス・キリストへの信仰を働かせ、神の戒めを守り、日々祈り、聖文と末日の預言者の教えを研究し、教会の集會に出席し、教会の召しや責任を受けて奉仕すべきです。

人々を支援する

救い主は地上での務めを果たされていたとき、貧しい人、病気の人、落胆した人の間をめぐられ、彼らの必要を満たし、癒しと希望をお与えになりました。そして、弟子たちにも同じことをするように教えられました。困っている人々に手を差し伸べることは、イエス・キリストの弟子の重要な特質なのです (ヨハネ13:35参照)。

今日も、主は御自分の民に、貧しい人や助けを必要としている人の世話をしようにと再び命じられました。主は言われました。「見よ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは貧しい者と乏しい者を訪れ、彼らに必要なものを与え……なければならない。」(教義と聖約44:6)。教会員は、助けを必要としている人に思いやりに満ちた奉仕をするように勧められています。頼まれたり、責任を与えられたりしなくても、「熱心に善いことに携わ[る]」べ

きです(教義と聖約58:26-27参照)。

主は、貧しい人や助けの必要な人を支援するための御自分の方法を説明されました。主は聖徒たちにこう指示されたのです。「貧しい者に持ち物を分け与え……ビショップ……の前に〔それを〕置かなければならない。……〔そして、〕わたしの倉に蓄えておき、……貧しい者と乏しい者に与える〔ようにしなければならぬ。〕」(教義と聖約42:31, 34)

主はさらに、ささげ物には会員の才能も含まれるべきであると言われました。これらの賜物は「主の倉に収め……すべて

の者はその隣人の益を図るように努め、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことを為すようにしなければならぬ」(教義と聖約82:18-19)。

主の倉は、貧しい人に食物を配給するために使われる建物だけに限りません。時間、才能、思いやり、物資、金銭など、忠実な会員が信仰を込めてささげるものすべてが含まれ、ビショップを通して貧しい人や助けの必要な人に与えられます。つまり、主の倉はどのワードにも存在し、ビショップが主の倉の管理者なのです。

ステーク会長の責任

ステーク会長会はビショップが福祉の原則を理解し、貧しい人を捜し出し、支援するという神聖な責任を確実に果たせるようにします。ステーク会長はビショップと話し合い、断食献金の額と支出状況について確認し、検討します。

ステーク会長会は、ビショップの倉や職業支援センターなどの福祉事業に、神権指導者による指導を提供するよう割り当てを受けることがあります。

ステーク会長は、福祉の原則と責任も含めた教会の様々な事柄について教えるを受けるために、調整評議会に出席します。このとき、指導者は、自立を促進し、貧しい人の支援をし、断食献金を納めるように励ます方法について検討します。

ステーク会長はまた、複数のステークにかかわる福祉や緊急時の対策について調整します。

ビショップの責任

ビショップには、貧しい人を捜し出し、支援するという神聖な責任があります(教義と聖約84:112参照)。ビショップはワードの福祉の業を指示します。ビショップの目標は会員が自助努力をし自立できるように助けることです。(支部においては、支部会長が同様の責任を担います。)

ビショップには、識別の^{たまもの}賜物が与えられています。この賜物を通して、助けを必要としている人を支援するうえで最善の方法は何かを見分けることができます。それぞれ置かれている状況は異なり、靈感を必要とします。^{みたま}御霊の導きと、この項



ビショップは助けを必要としている会員と面談し、どのような支援をするのが最もよいか話し合い、彼らが自立できるよう助けます。

に書かれている基本的な福祉の原則に従い、ビショップはだれを支援すべきか、どの程度の支援をどのくらいの期間にわたってしていくべきかを判断します。

一般的に、ビショップは自分のワードの管轄区域内に現在居住している会員だけを助けます。まれに、御霊の導きに従って、教会に属していない人々を助けることもできます。

ビショップは、会員の福祉の必要に関して守秘義務があります。神権指導者、扶助協会指導者など実際に助けを与える人々が必要としている情報だけを知らせるようにします。

福祉が不正に利用されている疑いがある場合、ビショップはビショップ専用のヘルプライン（1-801-240-7887）または地域管理本部に連絡します。ビショップが援助を必要とする会員をよく知らない場合は、支援をする前にその会員の以前のビショップに連絡を取るべきです。

支援するうえで基本的な福祉の原則

貧しい人や助けを必要としている人を支援するうえで、ビショップは以下の基本的な福祉の原則に従うべきです。

- **貧しい人を捜し出す。** 求められたときにだけ援助をするのでは不十分です。ビショップは、神権指導者や扶助協会指導者、またホームティーチャーや訪問教師が助けを必要としている人を明らかにできるように励ますべきです。
- **個人の責任を果たすように促す。** ビショップは会員とともに、本人と家族がそ

の必要を満たすために用いることのできる資産や能力、自分たちで努力できる事柄について検討します。

- **今の生活水準を保つのではなく、生活そのものを支える。** ビショップは、基本的な生活必需品を得られるように助けます。ゆとりある生活水準を保つための援助は与えません。
- **現金を与える前に、生活必需品を与える。** 可能ならば、金銭を渡したり、彼らの支払いを助けたりする前に、生活必需品を与えるようにします。ビショップの倉がない地域では、断食献金を使って必要な生活必需品を購入することができます。
- **労働の機会を与える。** ビショップは援助を受ける人に、彼らが受けた援助に対する、彼らの能力に見合った労働奉仕を依頼します。勤労の大切さを教え、有意義な仕事を与えます。ワード評議会において、有意義な仕事の機会をリストにし、常に更新するようにします。

貧しい人を助けるうえで、教会内で得られる援助手段

ワード評議会

ワード評議会に属する会員、特に神権定員会や扶助協会の指導者は、会員の福祉の必要を満たすためにビショップを助けます。ホームティーチャー、家庭訪問教師、またその他の特別な知識や技術を持った会員の協力を得ます。

必要な場合、神権役員会に扶助協会会長会を招いて内密を要する事項について



ビショップの指示の下で、ワード評議会は、福祉の必要を解決できるよう助けます。

話し合うことができます。

神権定員会と扶助協会

福祉は神権定員会と扶助協会の役割の中心となるものであり、それぞれの会長会で定期的に話し合うべきです。ビショップの指示の下、神権定員会と扶助協会は会員が必要を満たすための解決策を見いだし、自立できるように助けます。

扶助協会会長

前項で記された責任に加えて、扶助協会会長は通常、援助の必要な会員を訪問することによってビショップを助けます。どの程度の支援が必要かを会員が自分で判断できるように助け、どのような援助を提供すべきかビショップに提案します。ビショップと扶助協会会長は、会員を助

けるために『必要と援助手段の分析表』(32290 300)を用いることができます。

ワード福祉スペシャリスト

ビショップリックは、雇用スペシャリストなどの福祉スペシャリストを召すことができます。彼らはワードの会員の中から召されるべきであり、ワードの会員を雇用や教育・職業訓練、栄養・衛生、永代教育基金、家庭貯蔵、健康管理、財政管理など、会員の福祉の必要に応じて助けます。

断食献金と什分の一

主は御自分の民を祝福するために、什分の一の律法と断食の律法を定められました。断食の律法には断食献金も含まれます(イザヤ58:6-12; マラキ3:8-12参照)。この断食献金は、福祉の必要を満



適切であれば、ビショップはワード扶助協会会長に
会員を訪問するよう割り当て、彼らの必要を見極め、
どのように支援を提供するか決めるのを助けてもらいます。

たすためだけに使われます。

ビショップはワード評議会の助けを得ながら、全会員にこれらの律法に従って生活することの大切さを教えます。また、これらの律法に従う人々への主の約束について教えます。その約束には、主を身近に感じ、人々への思いやりが増すことが含まれています。主はまた、霊的な強さが増し加えられ、物質的にさらに豊かになり、奉仕する望みが強められるとも約束しておられます。

地域によっては、食物や衣類を提供するためにビショップの倉を利用できます。ビショップの倉がない地域では、食物や衣類を与えるために断食献金が使われます。断食献金は、住居、医療援助、生活必

需品を提供するためにも使われます。

教会中央福祉委員会では、ビショップが医療費の必要な会員のために、承認を得ることなく使える限度額を定めています。断食献金を使って治療する場合は、最寄りの適切な医療機関で治療を受けるべきです。

断食献金として納められる額と使われる額は、常に均衡を保たなければならないということではありません。

福祉支援は教会員のためのもので、通常は断食献金が使われます。教会の人道支援は、宗教・宗派を問わずあらゆる人々に与えられ、通常は人道支援のための献金が使われます。

ステーキおよび教会から得られるその他の援助

可能な場合、ビショップは、ステーキのスペシャリストや、教会職業支援センター、ビショップの倉、デゼレト産業、LDSファミリーサービス事務局などに依頼して、助けが必要な会員を支援してもらうことができます。

貧しい人を助けるうえで、教会外で得られる援助手段

会員は、基本的な必要を満たすために、公的機関も含め、地域の支援機関を利用するという選択をすることもできます。ビショップはこれらの支援についてよ

く把握しておくべきです。これには以下の機関が含まれます。

- 病院、医者など、医療が得られる場所や手段。
- 職業訓練所と雇用相談所。
- 障がいを持つ人々への支援。
- 専門のカウンセラーやソーシャルワーカー。
- 依存症支援機関

教会員が教会外の援助を受けている場合でも、ビショップは彼らがそれらの援助に頼り続けることのないように助けるべきです。



マタイ25:35-36, 40

この冊子には、神権指導者と扶助協会指導者を対象として、
基本的な福祉の原則と自立の要素が概説されています。
さらに詳しく知りたい方は、『福祉に関する指導者用ガイド——
主の道にかなって助けをなす』を参照してください。教会の配送センターで
購入できます。<http://www.providentliving.org>も参照してください。

表紙——「ベテスダの池で病人を癒されるキリスト」カール・ヘンリック・ブロック画、プリガム・ヤング大学美術館の厚意により掲載。

表紙内側——「キリストと金持ちの若い役人」ハインリッヒ・ホフマン画、ハリソン・コンロイ社の厚意により掲載。

扉のページ1——「やもめのレプタ」アレクサンダー・ビダ画。1ページ——写真 ©Robert Casey

裏表紙——「町中の者が集まった」ジェームズ・J・ティソール画。

©2009 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷：日本。英語版承認：2008年12月。翻訳承認：2008年12月。

原題：Providing in the Lord's Way: Summary of a Leader's Guide to Welfare Japanese 08257 300

発行：末日聖徒イエス・キリスト教会。ユタ州ソルトレーク・シティ

わたしたちの第一の目的は、……

いまわしい怠惰を打破し、

施しのもたらす悪弊を除去し、

独立心、勤勉、儉約、自尊心を

再びわたしたちの間に確立する体制を築くことである。

教会の目的は、人々が自助努力をするよう助けることにある。

勤労が再び教会員の生活を貫く

原則にならなければならない。

大管長会, Conference Report, 1936年10月, 3

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



2 902082 573008

08257 300